

2021年6月期 決算補足資料

2021年8月13日

日本工営株式会社

IRに関するお問い合わせ : 経営企画部 コーポレートコミュニケーション室 c-com@n-koei.co.jp

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は経済情勢等様々な不確定要因により、これらの予想数値と異なる場合があります。

2021年6月期決算総括

受注高は前期比減、売上高・営業利益は過去最高を更新

(単位：百万円)	20.6期 実績	21.6期 実績	前期比		期首計画	計画対比	
			増減	比率		増減	比率
受注高	144,871	133,304	▲11,567	92.0%	104,900	28,404	127.1%
売上収益	108,441	117,859	9,418	108.7%	102,600	15,259	114.9%
売上総利益	33,238	37,735	4,497	113.5%	31,400	6,335	120.2%
営業利益	5,245	7,128	1,882	135.9%	3,000	4,128	237.6%
税引前利益	5,029	7,176	2,147	142.7%	2,900	4,276	247.5%
親会社の所有者に帰属する当期純利益	3,099	4,531	1,432	146.2%	1,200	3,331	377.6%

※当社は、当連結会計年度より国際財務報告基準（IFRS）を適用しております。前連結会計年度の財務数値についても、IFRSに準拠して表示しております。日本基準に基づいた参考値は、P18をご参照下さい。

2021年6月期の要点

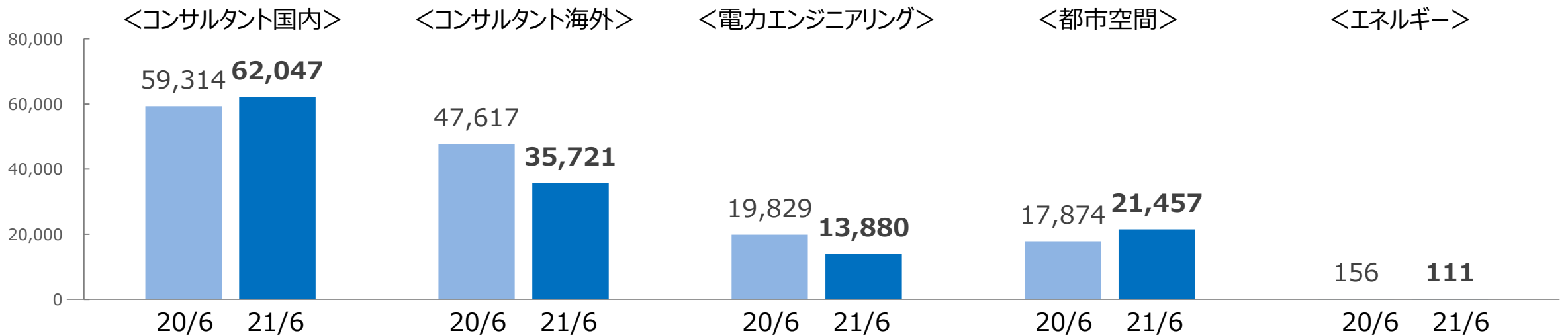
- 受注高はコンサルタント海外と電力エンジニアリングの前期大型受注の反動減が影響
- 売上収益はコロナ禍でも業務進捗、エネルギー以外のセグメントで増収
- 生産性向上策や経費減で収益性が大きく向上、各利益で大幅増益

新型コロナウイルス影響

- 期初は売上収益への影響額は約400億円減を想定、約100億円減程度で着地
- 影響が見込まれたコンサルタント海外は、期中で渡航制限が緩和、現地作業進捗

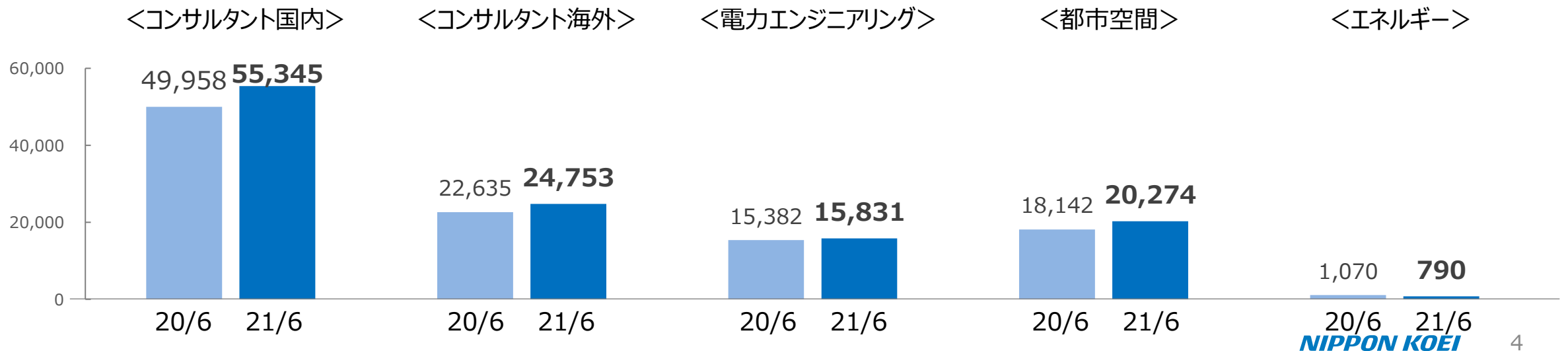
セグメント別実績（受注高）

(単位：百万円)	2020.6期 実績	2021.6期 実績	前期比		期首計画	計画対比	
			増減	比率		増減	比率
受注高	144,871	133,304	▲11,567	92.0%	104,900	28,404	127.1%
コンサルタント国内	59,314	62,047	2,733	104.6%	49,800	12,247	124.6%
コンサルタント海外	47,617	35,721	▲11,895	75.0%	23,900	11,821	149.5%
電力エンジニアリング	19,829	13,880	▲5,949	70.0%	13,000	880	106.8%
都市空間	17,874	21,457	3,582	120.0%	16,000	5,457	134.1%
エネルギー	156	111	▲45	71.1%	2,200	▲2,088	5.1%



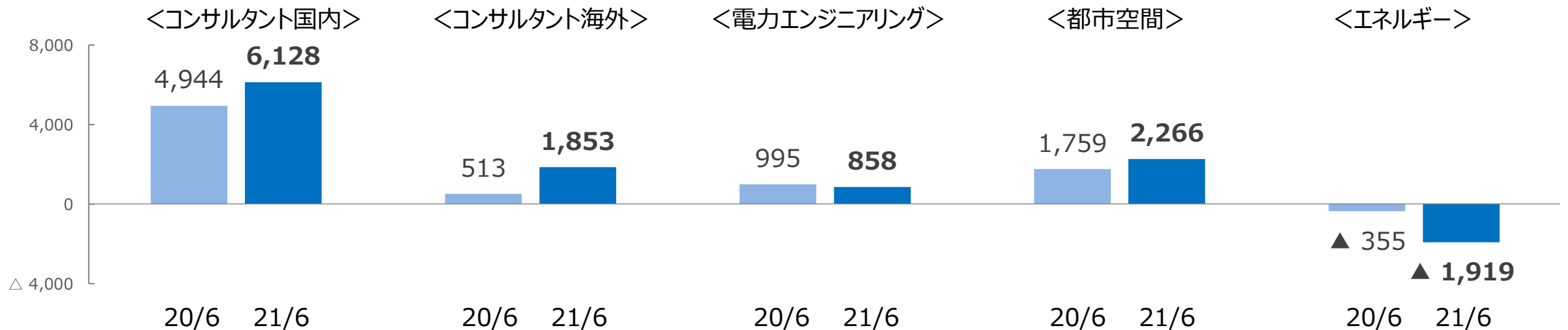
セグメント別実績（売上収益）

(単位：百万円)	2020.6期 実績	2021.6期 実績	前期比		期首計画	計画対比	
			増減	比率		増減	比率
売上収益	108,441	117,859	9,418	108.7%	102,600	15,259	114.9%
コンサルタント国内	49,958	55,345	5,386	110.8%	41,700	13,645	132.7%
コンサルタント海外	22,635	24,753	2,117	109.4%	22,100	2,653	112.0%
電力エンジニアリング	15,382	15,831	448	102.9%	18,000	▲2,168	88.0%
都市空間	18,142	20,274	2,131	111.7%	18,300	1,974	110.8%
エネルギー	1,070	790	▲279	73.9%	1,100	▲309	71.9%
不動産・その他	1,251	865	-386	69.1%	1,400	▲534	61.8%



セグメント別実績（営業利益）

(単位：百万円)	2020.6期 実績	2021.6期 実績	前期比		期首計画	計画対比	
			増減	比率		増減	比率
営業利益	5,245	7,128	1,882	135.9%	3,000	4,128	237.6%
コンサルタント国内	4,944	6,128	1,183	123.9%	2,100	4,028	291.8%
コンサルタント海外	513	1,853	1,340	361.1%	300	1,553	617.8%
電力エンジニアリング	995	858	▲137	86.2%	1,800	▲941	47.7%
都市空間	1,759	2,266	507	128.8%	700	1,566	323.8%
エネルギー	▲355	▲1,919	▲1,563	-	300	▲2,219	-
不動産・その他	▲2,611	▲2,058	552	-	▲2,200	141	-



セグメント別概況

コンサルタント国内

- 受注高・売上収益・営業利益とも過去最高更新
- 受注高は、要員増・海外連携等が寄与
- 営業利益は、売上増および業務効率化、出張費等の減少により、大幅増益

コンサルタント海外

- 受注高は、大型案件受注があった前年同期からの反動減、コロナ影響等により受注遅延発生
- 売上収益は、コロナ禍での現地作業推進、日本国内稼働好調により増収
- 営業利益は、渡航費等のコスト抑制、子会社（中南米工営、KRC）の体質改善が寄与し大幅増益

電力エンジニアリング

- 受注高は、ダム管理監視システム受注などは堅調だったものの、電力設備工事部門の前期大型受注の反動減
- 売上収益は、変電工事や変電制御製造の作業工期の延伸等により、前期並み
- 営業利益は、水力発電関連の原価率上昇、工事損失引当金計上により減益

セグメント別概況

都市空間

- 受注高は公共案件の受注獲得、4Qウエストミンスターの追加受注等により前年同期を上回る
- 売上収益は、BDP社のテレワーク業務推進や為替影響、NK組織改編でのコンサルタント国内から都市空間部門の移管（約20億円）で増収
- 営業利益は、BDP社のコスト抑制およびNK都市空間部門の移管分により増益

※ 2021年6月期実績レート 1 £ = 144.38円 （2021年6月期計画レート 1 £ = 136.23円）

エネルギー

- 受注高は、予定していた欧州蓄電池関連プロジェクトの受注遅れにより前年同期を下回る
- 売上収益は、英国蓄電池事業のEPCが完工した前年同期と比較し減収
- 営業利益は、案件開発の遅れにより欧州現地法人はコスト低減したものの、インドネシア国水力発電事業の減損損失計上（IFRS適用により営業損益に計上）により大幅減益

2022年6月期 見通し

対前年で売上高、営業利益は過去最高更新見込み、当期から5セグメントから3セグメントへ

(単位：百万円)	2021.6期 実績	2022.6期 計画	前期比	
			増減	比率
受注高	133,304	130,000	▲3,304	97.5%
コンサルティング事業	97,769	95,000	▲2,769	97.2%
都市空間事業	21,457	20,000	▲1,457	93.2%
エネルギー事業	13,991	15,000	1,008	107.2%
売上収益	117,859	131,000	13,140	111.1%
コンサルティング事業	80,098	89,000	8,901	111.1%
都市空間事業	20,274	21,000	725	103.6%
エネルギー事業	16,621	20,000	3,378	120.3%
不動産・その他	865	1,000	134	115.6%
営業利益	7,128	7,700	571	108.0%
コンサルティング事業	7,981	7,700	▲281	96.5%
都市空間事業	2,266	1,500	▲766	66.2%
エネルギー事業	▲1,061	1,700	2,761	-
不動産・その他	▲2,058	▲3,200	▲1,141	-
親会社の所有者に帰属する当期利益	4,531	4,700	169	103.7%

※2021年6月期の3セグメント数値は、内部取引消去前の単純合算値です。

※3セグメントの区分方法はP17を、5セグメントに区分した参考値はP19をご参照下さい。

長期経営戦略 NKGグローバル戦略2030 (2021.7~2030.6)
中期経営計画 Building Resilience 2024 (2021.7~2024.6)

NKGグローバル戦略2030 — 共創。限界なき未来に挑む —

基本方針	知の探究、技術の革新と統合により、新たな価値を提供し、持続可能な社会を実現する			
2030年6月期 数値目標 (IFRS)	売上高 2,500 億円	営業利益 250 億円	営業利益率 10%	ROE 15%

共創施策 1 事業区分の再編、 ワンストップ体制構築

- 3つの事業ドメインの新展開
- ワンストップサービスの実現と機動的な事業運営
- 新規事業（事業マネジメント分野等）への本格展開

共創施策 2 自律と連携の促進

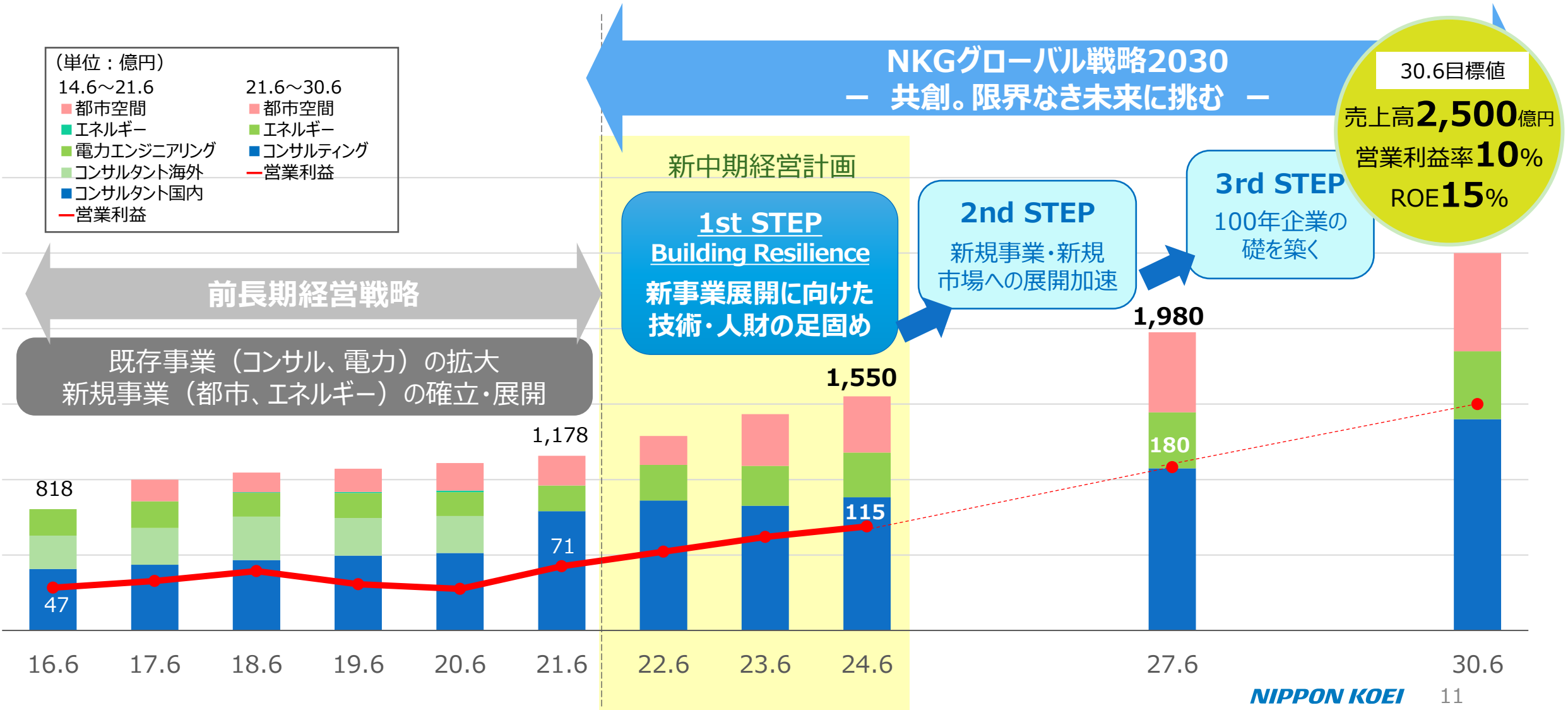
- 自律と連携、意思決定の迅速化、多様性の共存のため純粋持株会社へ移行
- 事業と地域を両軸としたマトリクス経営の実施

共創施策 3 NKGブランド、 NKGクオリティの体現

- 技術戦略と連携した世界トップクラスの人財育成
- デジタルトランスフォーメーション（DX）の実現化

2030年に目指す姿

競争力・企業価値を高め、グローバルに存在感のある企業となるべく、高品質・高付加価値の技術力と成果をアウトプットすることで持続的に利益を創出する企業を目指す。



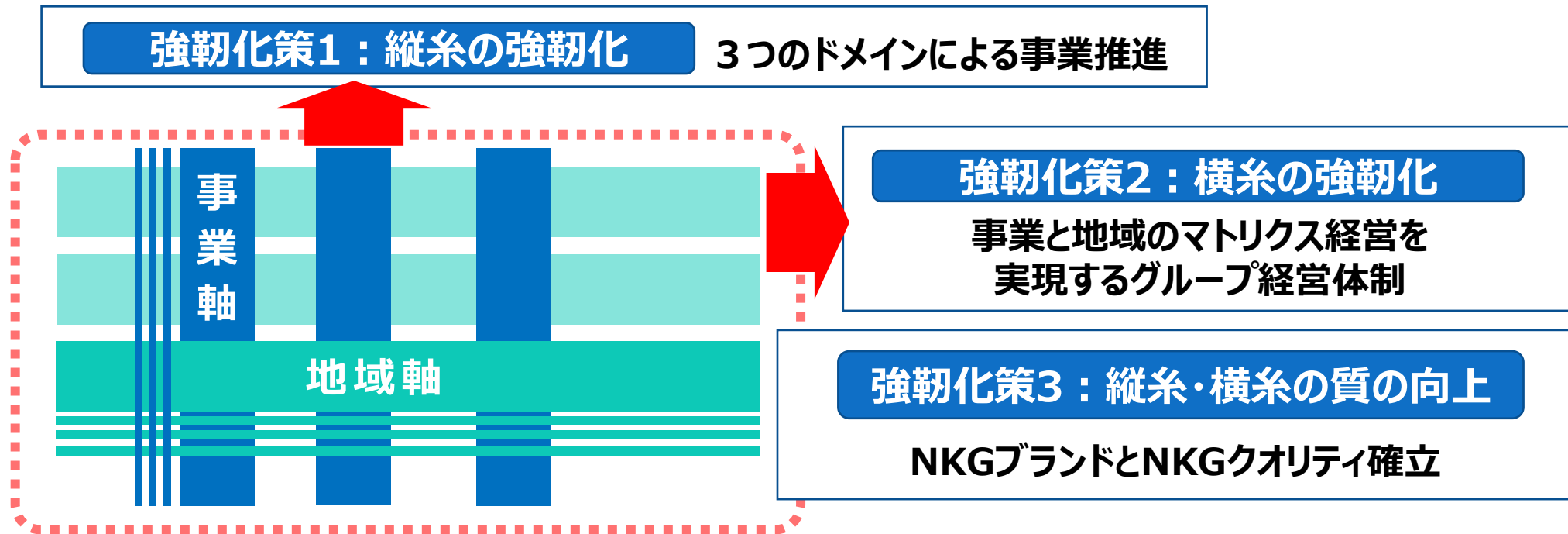
中期経営計画（2021.7～2024.6）のポイント

重点ポイント

日本工営グループの**強靱化**（Building Resilience）

基本方針

3つの強靱化策により、**サステナブルな未来の共創**に向けた基礎固めをする。



2024年6月期
数値目標（IFRS）

売上高
1,550億円

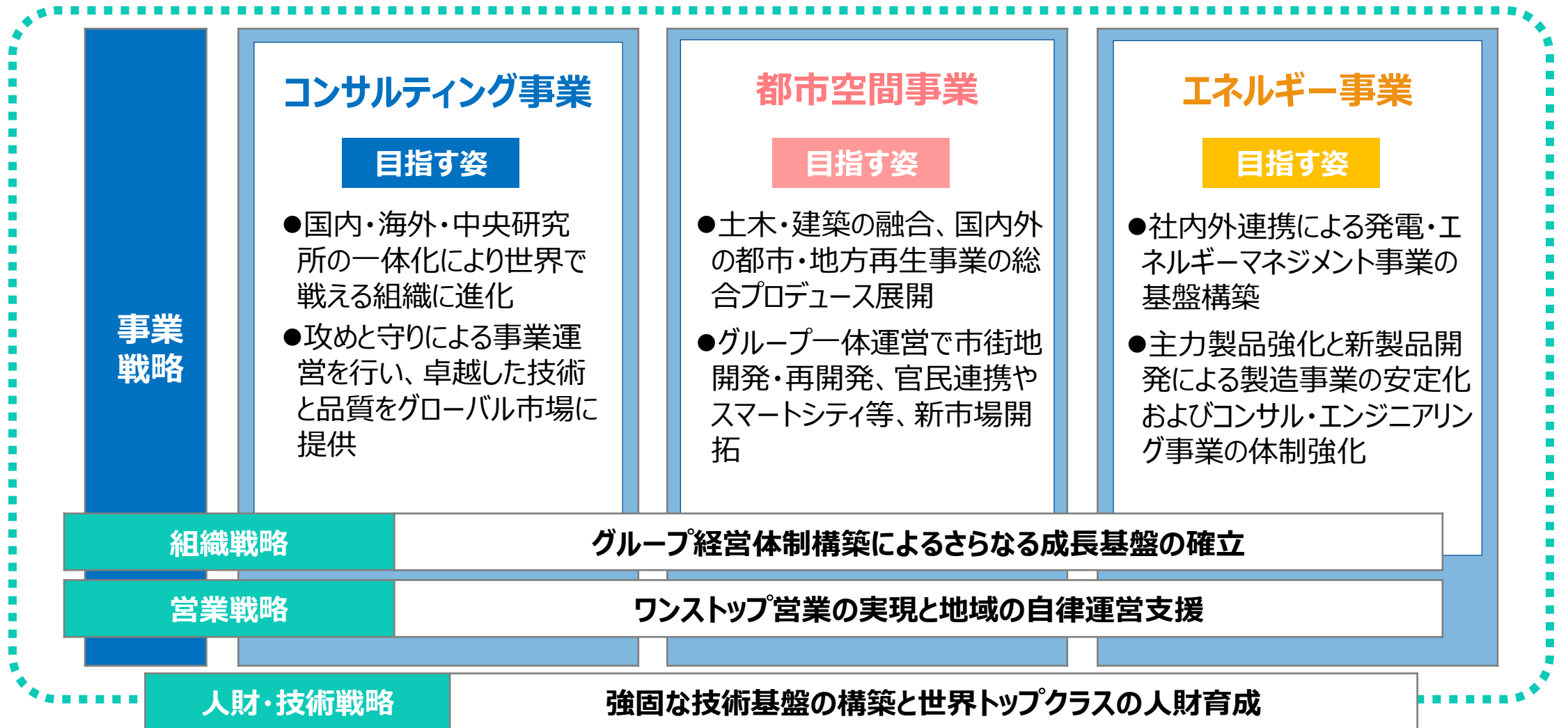
営業利益
115億円

営業利益率
7%

ROE
9%

中期経営計画 Building Resilience 2024

3ドメインの事業戦略推進（縦糸）、組織戦略・営業戦略の推進（横糸）、人財・技術戦略推進に取組む（縦糸・横糸の質の向上）



中期経営計画 Building Resilience 2024 数値目標

(単位：百万円)	2021.6期 実績	2024.6期 計画	増減	比率
受注高	133,304	150,000	16,695	112.5%
売上収益	117,859	155,000	37,140	131.5%
営業利益	7,128	11,500	4,371	161.3%
営業利益率	6.0%	7.4%	1.4pt	
税引前利益	7,176	11,000	3,823	153.3%
親会社の所有者に帰属する当期純利益	4,531	7,100	2,569	156.7%
ROE	6.7%	9.0%	2.3pt	

中期経営計画 Building Resilience 2024 数値目標 セグメント別

(単位：百万円)	2021.6期 実績	2024.6期 計画	増減	比率
受注高	133,304	150,000	16,695	112.5%
コンサルティング事業	97,769	92,000	▲5,769	94.1%
都市空間事業	21,457	39,000	17,542	181.8%
エネルギー事業	13,991	19,000	5,008	135.8%
売上収益	117,859	155,000	37,140	131.5%
コンサルティング事業	80,098	88,000	7,901	109.9%
都市空間事業	20,274	40,000	19,725	197.3%
エネルギー事業	16,621	26,000	9,378	156.4%
不動産・その他	865	1,000	134	115.6%
営業利益	7,128	11,500	4,371	161.3%
コンサルティング事業	7,981	8,200	218	102.7%
都市空間事業	2,266	3,200	933	141.2%
エネルギー事業	▲1,061	3,300	4,361	-
不動産・その他	▲2,058	▲3,200	▲1,141	-

※2021年6月期の3セグメント数値は、内部取引消去前の単純合算値です。

Appendix.

セグメント区分の変更について

一層の連携を図るため、従前の5セグメントから3セグメントへ変更

～2021年6月期（変更前）

セグメント	主なグループ会社
コンサルタント 国内	玉野総合コンサルタント（株） 日本シビックコンサルタント（株） （株）エル・コーエイ
コンサルタント 海外	（株）コーエイリサーチ&コンサルティング 中南米工営（株） NIPPON KOEI LAC, INC. NIPPON KOEI INDIA PVT. LTD. NIPPON KOEI VIETNAM INTERNATIONAL CO., LTD. PHILKOEI INTERNATIONAL, INC. PT. INDOKOEI INTERNATIONAL MYANMAR KOEI INTERNATIONAL LTD.
都市空間	BDP HOLDINGS LIMITED BUILDING DESIGN PARTNERSHIP LIMITED QUADRANGLE ARCHITECTS LIMITED （株）黒川紀章建築都市設計事務所
電力 エンジニアリング	（株）コーエイシステム
エネルギー	（株）工営エナジー NIPPON KOEI ENERGY EUROPE B.V. PT. CIKAENGAN TIRTA ENERGI IRONMONT HYDRO PTE. LTD

2022年6月期～（変更後）

セグメント	主なグループ会社
コンサルタント	玉野総合コンサルタント（株） 日本シビックコンサルタント（株） （株）エル・コーエイ （株）コーエイリサーチ&コンサルティング 中南米工営（株） NIPPON KOEI LAC, INC. NIPPON KOEI INDIA PVT. LTD. NIPPON KOEI VIETNAM INTERNATIONAL CO., LTD. PHILKOEI INTERNATIONAL, INC. PT. INDOKOEI INTERNATIONAL MYANMAR KOEI INTERNATIONAL LTD.
	PT. CIKAENGAN TIRTA ENERGI
	BDP HOLDINGS LIMITED BUILDING DESIGN PARTNERSHIP LIMITED QUADRANGLE ARCHITECTS LIMITED （株）黒川紀章建築都市設計事務所
エネルギー	（株）コーエイシステム （株）工営エナジー NIPPON KOEI ENERGY EUROPE B.V. IRONMONT HYDRO PTE. LTD

23/6期に
都市空間へ移管

21/6期 NK都市空間
部門が移管

【参考値】2021年6月期 5セグメント別実績（日本基準）

(単位：百万円)	2020.6期 実績	2021.6期 実績	前期比	
			増減	比率
受注高	141,632	132,177	▲9,455	93.3%
コンサルタント国内	56,184	61,280	5,095	109.1%
コンサルタント海外	47,508	35,364	▲12,143	74.4%
電力エンジニアリング	19,829	13,878	▲5,950	70.0%
都市空間	17,874	21,457	3,582	120.0%
エネルギー	156	110	▲46	70.6%
売上高	112,214	117,710	5,495	104.9%
コンサルタント国内	51,333	54,961	3,627	107.1%
コンサルタント海外	24,508	24,912	403	101.6%
電力エンジニアリング	15,747	15,897	150	101.0%
都市空間	18,160	20,267	2,106	111.6%
エネルギー	1,187	789	▲398	66.5%
不動産・その他	1,276	881	▲394	69.1%
営業利益	4,590	7,715	3,125	168.1%
コンサルタント国内	5,227	6,946	1,718	132.9%
コンサルタント海外	684	1,685	1,001	246.3%
電力エンジニアリング	1,069	904	▲165	84.6%
都市空間	917	997	79	108.7%
エネルギー	▲383	▲409	▲26	-
不動産・その他	▲2,924	▲2,407	516	-

※2021年6月期末より国際財務報告基準（IFRS）を適用しているため、参考値として算出した日本基準による概算値となります。

【参考値】2022年6月期 5セグメント別見通し（IFRS）

(単位：百万円)	2021.6期 実績	2022.6期 計画	前期比	
			増減	比率
受注高	133,304	130,000	▲3,304	97.5%
コンサルタント国内	62,047	62,000	▲47	99.9%
コンサルタント海外	35,721	33,000	▲2,721	92.4%
電力エンジニアリング	13,880	15,000	1,119	108.1%
都市空間	21,457	20,000	▲1,457	93.2%
エネルギー	111	0	▲111	-
売上収益	117,859	131,000	13,140	111.1%
コンサルタント国内	55,345	58,000	2,654	104.8%
コンサルタント海外	24,753	31,000	6,246	125.2%
電力エンジニアリング	15,831	19,000	3,168	120.0%
都市空間	20,274	21,000	725	103.6%
エネルギー	790	1,000	209	126.5%
不動産・その他	865	1,000	134	115.6%
営業利益	7,128	7,700	571	108.0%
コンサルタント国内	6,128	5,700	▲428	93.0%
コンサルタント海外	1,853	2,000	146	107.9%
電力エンジニアリング	858	1,900	1,041	221.4%
都市空間	2,266	1,500	▲766	66.2%
エネルギー	▲1,919	▲200	1,719	-
不動産・その他	▲2,058	▲3,200	▲1,141	-

※2022年6月期から3セグメントに変更しているため、参考値として算出した従来の5セグメント別の概算値となります。